

平成24年度

木祖村教育委員会点検・評価報告書

木祖村教育委員会

平成24年度木祖村教育委員会点検・評価報告書

木祖村教育委員会では、今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、点検・評価を実施した。

I 点検・評価の概要

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律台162号）の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことにより、課題や取組の方向性を明らかにするとともに、効果的な教育行政の推進を図るものである。

また、この結果を議会に提出するとともに公表を行うことにより、村民に対する説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政の推進を図るものである。

2 実施方法

- (1) 平成24年度の具体的施策及び主要事業を対象として、点検・評価を実施する。
- (2) 点検・評価は、平成24年度の事業等の実施状況を報告するとともに、課題や今後の取組の方向性を示す。
- (3) 点検・評価は、有識者の意見を聴取した上で教育委員会による点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた「報告書」を木祖村議会へ提出する。また、報告書は公表する。

根拠法令

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）
第27条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成24年度木祖村教育委員会点検・評価報告書

I 教育委員会による平成24年度事業評価と課題

1. 教育委員会の活動について	1
2. 学校教育について	1
3. 社会教育・公民館	2
4. 社会体育	3
5. 文化財保護	3
II 主要事業成果報告	4
1. 教育委員会関係	4
2. 学校教育関係	5
3. 社会教育、公民館関係	6
4. 社会体育関係	7
5. 文化財保護事業関係	9
6. 主要建設工事等	10
7. 教育委員会関係委員名簿	10
8. 公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧	11
学識経験者の意見	

教育委員会による平成24年度事業評価と課題

1. 教育委員会の活動について

現状と評価

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、首長から独立した行政委員会として各都道府県、市町村に設置されており、5人の教育委員により組織され、その合議の下に、教育、文化、スポーツ等に関する教育行政の事務が行われることとなっている。

木祖村教育委員会では、平成24年度において、10回の定例会議を開催し、必要事項を審議、決定したほか、2回の臨時会を開催し、教育長、教育委員長の選任を行った。また、平成24年度から授業参観に合わせ小学校、中学校への訪問を行い、学校や学校内における児童、生徒様子の把握、住民福祉課、保育園、小中学校と連携した就学支援相談体制への委員の参加などの新たな取り組みを行った。

また、各種の研修会等への出席、第4次基本構想における後期基本計画策定委員会への委員の参加、成人式など教育委員会の主催事業や村の行事にも積極的に参加をしてきた。

課題

教育委員会は教育行政の基本的な方針や委員会の規則や規程の制定、学校その他教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価等は、委員会自らが執行管理をすることになっている。

しかし一方では、各地でのいじめや体罰、教員不祥事などが続く中で、教育委員会のあり方が課題とされている。人事権、予算編成・執行権、条例制定権などは首長部局にあり、また教員人事などについても県教育委員会が行うなどの実態の中で、市町村教育委員会の責任や権限が見えないといったあり方が問われることとなっている。

国や長野県においても市町村教育委員会のあり方について、様々な方向から検討が始められており、今後の動向を注視しなければならない。

2. 学校教育について

現状と評価

学校の基本目標

小学校は「子どもが喜んで登校できる学校づくりのために」を、中学校は「生命を大切にし、自ら伸びようとする生徒」をそれぞれ学校の教育目標として運営をしてきた。

学校評価への取り組み

学校評価への取り組みとして、児童生徒のすこやかな成長を目指し、学校が児童生徒の学習状況や教育課程の実施状況等に関する自己点検・自己評価を行い、その成果や課題を明らかにしながら、学校運営や教育活動の改善を進めるためにその過程を保護者や地域社会に説明することで、説明責任を果たし、開かれた学校づくりを進めていくことを目標にした。その実施に向けて、児童・生徒、保護者からの学校評価アンケートや運動会等の行事に関するアンケートなどを行い、その結果を、学校だより「岩魚」「おおとり」で各家庭に報告するとともに、隣組回覧で地域にも公表した。

また、学校評議員会を2回開催し、学校評価の結果、体カテストの結果等を説明し、評議員との意見交換を実施した。

木祖小学校では冊子「家庭学習の手引き～自ら学習する子をめざして～」を作成し、各学年の学習目標と児童の家庭学習の習慣を身につけさせるための保護者の関わり方についての指針を示した。

課題

児童・生徒数が減少していく中で、保育園から中学校まで同じ構成での園、学校生活が続くことになる。子どもたちの人間関係が固定化してゆくことと、そのことによる競争心、向上心の衰退につながらないように指導をしていくことが重要となってくる。単級となったことから、小・中学校とも「木祖っ子クラブ」や「おおりの時間」など学年を超えた縦割り学習活動を行っている。

中学校では平成25年度に3年生となる29名の生徒が卒業することにより、生徒数が60人を下回ることとなり、学校運営、生徒会、部活動、また保護者世帯数の減少によるPTA組織等への影響は避けられない状況にある。

小学校の学校評価のアンケート項目の「あなたは学校が楽しいですか」の項目に小学校「あまり思わない」「いいえ」と答えた児童が少数ではあるが存在している。平成24年度においては、長期にわたる不登校の児童・生徒はいないが、今後も注意深く見守っていく必要がある。

3. 社会教育・公民館

現状と評価

教育委員会と公民館が連携を保って生涯学習を進めるために様々な学級や講座を行ってきた。

女性セミナーや大人の学級では、世代間のふれあい交流や、健康や生きがいにつながる村内散策、村の宝講座などを継続して実施した。歴史文化を学ぶ場としてふるさと講話を分館と連携して開催した。

文化祭展示会は各分館を中心に行われ、各会場を回るシャトルバスの運行などにより来場者は増加している。

芸能祭は出演団体が年々増加し16団体となり、各サークルの発表の場として定着してきた。子どもから年配者まで楽しめる内容で多くの村民が来場している。

源流図書館は開設4年目を迎えた。図書館利用者カードの発行数は増加しているが、一方で利用頻度の高かった利用者の転出により来館者数と貸出数は減少をした。

課題

教育委員会や公民館で行う事業については参加者はやや固定化している傾向にある。様々なサークル活動が活発に行われ、芸能祭への参加団体を見ると若年層の新しいサークル活動が始まってきている面もある。村民センターや転作研修センターなどの公共施設を使用している定期的な活動をしている団体が多くなり、今後は利用者間の調整も必要となる状況になると思われる。

ふるさと講話については各分館ごとに開催をしているが、各会場とも参加者が少なく、合同により一会場での開催の検討も始まってきている。

文化祭展示会は各分館ともに出展者の減少が課題となっている。社会教育委員会の中でも学校文化祭でのPTA作品の出展などの協力呼びかけについての意見があった。

源流図書館の利用状況については、その存在についての村民への知名度はかなり浸透していると考えられる。図書館だよりの発行や若い世代についてはPTA文庫もあることから、学校参観の機会などに学校やPTA役員からも利用について連絡をしているが、増加につながっていないのが現状である。急激な増加を期待するのではなく、現在の利用者の満足度を向上させながら、増加につながる様な取り組み方もあるのではと考える。

4. 社会体育

現状と評価

源流スポーツ大学は、「シェイプアップ教室」、「ヨガ教室」等を行っている。人気のある講座への参加者は微増をしている一方で、参加者が数名といった講座もある。

一方で、小学生を対象とした「すくすく倶楽部」には、学校児童の70%近くの子どもが登録している。子どもの数が減る中で地域で遊ぶ機会が減ってきていることが背景にあるように思われる。

村内一周駅伝大会は参加チーム数は、5区間 28チーム、10区間 5チームと平成23年度と同じ参加チーム数となった。

村民体育祭に行われている綱引き大会は参加する自治会が2自治会のみとなり固定化してきている。

課題

源流スポーツ大学の参加者数の少ない講座については、どの段階で見直しをするかの見極めが難しい状態である。少ない人数であってもほとんど毎回参加している実態であることからすぐに廃止といったこともできないのが現状である。

村民の趣味の多様化により、スポーツ団体が増え、個々の団体の構成員が減っていく傾向がある。特に少子化、高齢化の進む中で少年部門の団体やゲートボール部など構成員が減少し、維持が困難な状況も生じてきている。

村内一周駅伝大会については、特に藪原地区の自治会から選手が集められなといった声もあり、合同チームでの参加なども検討課題になってきている。一方で数チーム、村外者による団体の参加もある。

綱引き大会については運営方法や他の種目への変更を含め、今後のあり方を検討する必要がある。

5. 文化財保護

現状と評価

平成23年度において「木祖村史跡鳥居峠の文化財としての今後のあり方について」を文化財保護審議会に諮問をし、同委員会は答申に向けて協議を重ね、平成24年4月定例教育委員会に、答申が行われた。教育委員会では、この答申を元に教育委員会としての方針を策定し、議会全員協議会において報告をした。

文化財保護審議会の活動と郷土館の運営を軸に進めてきた。村指定文化財をパトロールし、状態を確認、田上観音のシダレザクラについては樹木医による診断を実施した。

課題

お六櫛や藪原祭りなどの伝統文化を将来に継承していくことや鳥居峠や藪原の町並みの景観の維持のために、更に村民の理解を求めていく必要がある。

また、伝統文化、伝統工芸の伝承のために後継者の育成も必要な状況となっている。

主要事業成果報告

1. 教育委員会関係

(1) 教育委員会の開催

定例教育委員会を年10回 臨時教育委員会を2回開催

(2) 教育委員関係会議・研修等

市町村と県教育委員会との連絡会議 8回

市町村と県教育委員会との懇談会 1回

関東甲信越静市町村教育委員会連絡協議会総会

平成24年5月18・19日 埼玉県川口市で開催

木曾郡町村教育委員会連絡協議会総会

平成24年 6月 8日 王滝村で開催（青木正昭 前教育長 功労表彰受章）

長野県市町村教育委員会連絡協議会研修会

平成24年10月19日 小諸市で開催（青木正昭 前教育長 功労表彰受章）

平成24年度教育委員会開催経過および協議事項等について

	期日	会議事項
臨時会	平成24年 4月 2日（月）	教育委員会教育長の選任について 教育長 蒲沼 巧 教育長代理解任について 永井教育次長教育長代理の職を解任
4月定例会	平成24年 4月18日（水）	木祖村史跡鳥居峠の文化財としての今後のあり方について文化財保護審議会からの答申（文化財保護審議会長・副村長出席） 平成24年度木祖小学校運営計画について 平成24年度木祖中学校運営計画について 平成24年度小中学校評議員の選任について（委員名簿別表添付） 長野県教職員組合木曾支部木祖村単位組合からの要望書について 平成24年度社会教育・体育計画について 小・中学校、社会教育委員との情報交換
5月定例会	平成24年 5月11日（金）	平成24年度木祖村奨学金の貸付について 教育資金利子補給の交付について 教職員不祥事根絶のための教育関係者緊急会議について 木祖村学校給食センターにおけるノロウイルス対策について 関東甲信越静市町村教育委員会連絡協議会研修総会について 木曾郡町村教育委員会平成24年度定例総会について
7月定例会	平成24年 7月19日（木）	平成24年度奨学金貸付・利子補給の決定について（報告） 木祖小学校 中学校 一学期のまとめと報告について 非違行為防止強化月間の取り組みについて 平成24年6月・7月予算補正教育委員会関連事業について 私立高等学校運営費補助金交付要綱改正検討について 就学相談体制の整備について その他 子ども科学体験館の開催について 平成25年度からのALT設置形態について 信濃毎日新聞データベース設置について
8月定例会	平成24年 8月29日（水）	平成23年度教育委員会成果報告について 第56回長野県市町村教育委員会研修総会への参加について 木祖村後期基本計画策定委員会への委員選出について 永島芳晃委員を選出 9月定例議会予算補正教育委員会関連事業について 平成24年度敬老会への出席について 木祖村史跡鳥居峠の文化財としての今後のあり方について 教育委員会の方針（案）について 小学校校務技師の募集について 文化財標柱への被害対応について 任期満了に伴う教育委員の選任について（村長から）

	期日	会議事項
9月定例会	平成24年 9月28日 (金)	平成23年度教育委員会成果報告について 小学校校務技師の採用について 臨時教育委員会の開催について
臨時会	平成24年10月 1日 (月)	教育委員長の選挙について 委員長 唐沢 達夫 職務代理者の指定について 職務代理 青木 瑞穂
11月定例会	平成24年11月16日 (金)	小学校訪問(授業参観日に合わせて) 小学校長・教頭との懇談
12月定例会	平成24年12月 4日 (火)	平成23年度教育委員会成果報告について(学識経験者評価) 教職員の綱紀の肅正および服務規律の確保について 平成25年度教育委員会事業の方向性について 木祖小学校 中学校の2学期のまとめと報告 就学相談体制の整備について
1月定例会	平成25年 2月 4日 (月)	小学校訪問(授業参観日に合わせて) 小学校長・教頭との懇談 平成25年度就学通知について 平成25年度当初予算案(村長査定時)について
2月定例会	平成25年 2月27日 (水)	木祖村公民館長の選任について(教育委員会議案第1号) 木祖村社会教育委員並びに木祖村公民館運営審議会委員について 木祖村文化財審議会委員について 木祖小学校・中学校卒業証書授与式・入学式について 3月補正予算(教育委員会関係)について 平成25年度木祖村教育委員会事業について 木祖小学校・中学校学校評議員会の報告について 木祖村後期基本計画(素案)について
3月定例会	平成25年 3月25日 (月)	木祖村社会教育委員の選任について(教育委員会議案第2号) 木祖村公民館運営審議会委員について(教育委員会議案第3号) 平成24年度末・25年度教職員の異動について 高等学校入試結果について

2. 学校教育関係

小学校は「明るくのびのびした子ども」、中学校は「生命を大切にし、自ら伸びようとする生徒」を教育目標に掲げ、ふるさと木祖村を愛し、生きる力を身につけさせることを重点に、小・中学校それぞれに個性ある教育計画・学校運営計画を作成し、児童・生徒の教育活動の実践をしてきた。

新学習指導要領が、小学校は平成23年度、中学校は平成24年度から実施され新たな取り組みが始まっている。

(1) 学級編成、児童生徒の状況

本村児童生徒数も社会全体の少子化の進行により年々減少し、小学校は各学年1クラスの6学級と特別支援学級2クラスの8学級で児童数は126名、中学校は各学年1クラスの3学級で生徒数は69名となった。

(児童・生徒数)

木祖小学校					木祖中学校				
学年	学級数	男	女	計	学年	学級数	男	女	計
1学年	1	8人	13人	21人	1学年	1	12人	6人	18人
2学年	1	8人	12人	20人	2学年	1	16人	13人	29人
3学年	1	13人	10人	23人	3学年	1	11人	11人	22人
4学年	1	8人	9人	17人	特別支援				
5学年	1	12人	8人	20人					
6学年	1	10人	11人	21人					
特別支援	2	(4)人	(1)人						
合計	8	59人	63人	122人	合計	3	39人	30人	69人

学級編成・児童生徒・教職員の状況(平成24年5月1日現在 学校基本調査)

(2) 通学対策

小木曾・菅地区の児童生徒のスクールバスによる通学を援助するため、スクールバスの運行委託費用として小学校 8,285 千円、中学校 5,523 千円を支出した。

(3) 就学援助費

準要保護児童・生徒世帯（4 世帯）に合計 494 千円を扶助した。

(4) 学校施設整備・管理・修繕

校舎等の修繕については施設が老朽化してきていることから修繕箇所も多く出てきているが、順次対応をしてきている。

本年度は、安全性の向上や教育環境整備として、小学校はグラウンド配電盤取替工事 351 千円、防火シャッター改修 115 千円、中学校は玄関、階段等修繕、プール電源引込交換工事 861 千円などを実施した。また、教室の照度不足に対応するため、一部教室の蛍光灯を取り替えを行った。

(5) 学校給食

木祖村学校給食センターで小・中学校児童・生徒・教職員に対し、栄養士 1 名、調理員 4 名体制で、小学校 202 日、中学校 198 日の給食を供給した。

ガス回転釜 2 台を更新したほか、ランチルームのボイラーを交換した。

(6) 教員住宅

現在、21 戸の教員住宅が教育委員会の管理となっている。このうち、教職員の 8 名、一般 11 名の入居があり、3,582 千円の貸付け収入があった。

3. 社会教育、公民館関係

(1) 社会教育・公民館関係の会議

今年度も社会教育委員、公民館分館運営委員を中心に各種研修会への参加や交流会を通じて各委員の資質の向上に務めた。また公民館主催行事への運営にご協力いただいた。

(2) 公民館学級講座実績

年度当初策定した社会教育計画に基づき、「だれでも、いつでも、どこでも、どんなことでも」参加できる、学習できる、集まれる、ふれあえる、といった環境づくりに努めた。

昨年度に引き続き、分館と連携して歴史文化を学ぶ場ふるさと講話を開催した。女性セミナーや大人の学級では、世代間のふれあい交流や、健康やいきがいにつながる村内散策などを継続して実施した。

月 日	会議・研修会名	開催場所	参加者数
4月18日	木祖村社会教育委員の会議(定例教委合同)	役場	15名
11月29日	木祖村社会教育委員の会議	役場	11名
5月17日	木祖村の明日を語り合う車座集会	村民センター	65名
5月24日	木曾郡社会教育委員連絡協議会総会	南木曾町	2名
5月28日	中信地区社会教育委員連絡協議会総会・研修会	総合教育センター	2名
6月20日	長野県社会教育委員連絡協議会総会・講演会	総合教育センター	2名
6月29日	つながる!地域子育て研修会	松本合同庁舎	4名
9月27-28日	第53回関東甲信越静兼第60回長野県公民館大会	松本市	2名
12月1日	学社融合フォーラム	総合教育センター	2名
11月11日	木曾郡公民館大会	王滝村	15名
11月8日	中信地区社会教育委員連絡協議会理事会・地区別研修会	塩尻市	3名
8月14日	木祖村成人式	村民センター	対象32名
10月27日・28日	第39回木祖村文化祭展示会	村内	
11月3日	芸能祭	村民センター	

(H24社教委・公民館)

その他、実績一覧は別掲

(3) 人権教育関係

平成24年度も県人権教育促進事業補助金を活用しながら「女性セミナー」「大人の学級」などでの交流会や、小学校放課後対策の一環で手話体験を行なうなど公民館学級講座の中で人権意識の高揚を図った。

(4) 青少年育成関係

7月の啓発活動は社会を明るくする運動と合同で行い、JR利用者を中心に啓発活動を実施した。また11月にはPTA会長など役員のほか、学校長や木祖村駐在警察官にも参加していただき、中学校の下校巡視5班（藪原神社の坂、日野屋前、役場前バス停、とちのみ保育園前、吉田バス停前）に分かれて行った。

月 日	会議・事業名	開催場所	参加者数
5月15日	青少年育成連絡協議会役員会	役場	9名
5月31日	青少年育成連絡協議会総会	役場	36名
7月2日	強調月間啓発活動・社明運動	藪原駅	14名
7月26日	科学体験教室(共催)	木祖小学校	55名
11月8日	強調月間村内巡回	村内一円	2名
11月17日	木祖村住民集会	村民センター	82名
11月20日	小中学校下校巡視	村内一円	11名

(H24青少協))

(5) 読書活動推進関係

平成21年度開館した地域図書館を中心に、児童生徒をはじめ村民にも読書活動が高まるよう、図書のみならず生涯学習情報の場として充実を図っている。

運営状況：平日午後1時～6時開館 土日午前9時～午後5時開館、月曜日休日

平成24年度開館日数：297日 利用登録者数：33名+小中学生

利用冊数：一般1,327冊+中学生 79冊

図書館協力員(有償ボランティア) 10名が半日を単位に交代勤務している。

(6) 芸術文化関係

日ごろの公民館活動やサークル活動の発表の場として、木祖村文化の継承・発展の場として第39回木祖村文化祭展示会(10月27～28日)、芸能祭(11月3日)を開催した。

木曾文化公園自主事業企画実行委員会への運営協力。

各種サークル活動の支援(マナビー通信による情報提供)

(7) 成人式関係

成人式は毎年8月14日村民センターにて開催

対象者 平成3年4月2日～平成4年4月1日 32名

【当日出席者】 成人者 28名 来賓 20名 恩師 4名 主催者 17名 合計 69名

4. 社会体育関係

(1) 社会体育関係会議等

今年度も、体育協会については年間計画に沿って役員会等を開催し、その都度各部へ報告や依頼をした。また、郡総体関係についても積極的な参加を依頼し、反省事項等は郡の会議へも報告をした。第54回となった村内一周駅伝大会は11月3日に行われ、参加チーム数も5区間28チーム、10区間5チームとなり、盛大に開催することができた。

○体育協会

日 時	内 容	開催場所
4月23日	村体育協会代議員会	役場2階大会議室
5月26日	木曾郡体育協会定期総会	木曾町
7月22日	木曾郡総合体育大会開会式	大桑村
9月6日	村体育協会役員会	役場2階大会議室
10月29日	村体育協会役員会	役場2階大会議室
1月16日	木曾郡総体冬季スキー大会主将会議	木曾町
3月18日	村体育協会役員会	役場2階大会議室

(H24体協)

○村内一周駅伝大会

日 時	内 容	開催場所
9月26日	駅伝大会打ち合わせ会議	役場2階大会議室
10月26日	駅伝大会最終監督会議	役場2階大会議室
10月29日	駅伝大会競技役員打合せ会議	役場2階大会議室
11月3日	第54回村内一周駅伝大会	村内
11月20日	駅伝大会反省会	役場2階大会議室

(H24駅伝)

第54回（平成24年度）木曾川源流村内一周駅伝大会 参加チーム等

出場チーム			役員等	
5区間の部	2チーム	140名	大会役員	18名
10区間の部	5チーム	50名	競技役員	97名
補欠登録者		44名	交通安全協会	46名
選手計		234名	役員等計	161名
			合 計	395名

○社会体育施設使用調整会議

日 時	内 容	開催場所
7月19日	使用調整会議（8月～11月まで）	社会体育館会議室
11月21日	使用調整会議（12月～翌年3月まで）	社会体育館会議室
3月18日	使用調整会議（4月～7月まで）	役場2階大会議室

(H24使用調整)

(2) スポーツ団体等

スポーツ団体は体協を中心に 22 団体が活動をしている。活動は各団体でそれぞれ行っており、教育委員会として相談や依頼を受け対応をしている。

○体育協会（13 種目）

スキー部 野球部 剣道部 陸上部 ソフトテニス部 射撃部 弓道部
ソフトボール部 バドミントン部 ゲートボール部 ゴルフ部 卓球部
マレットゴルフ部

○体育協会以外のスポーツ団体

ソフトバレー愛好会 軽スポーツ同好会 バスケットボールサークル

○ジュニアスポーツ団体

学童野球 少年野球 ジュニアスキークラブ ジュニア卓球クラブ 少年剣道部
ジュニアフットサルクラブ

(3) 社会体育施設利用状況

○木祖村運動場

定期利用 体協野球部 体協ソフトボール部 学童野球 少年野球

○社会体育館

定期利用 体育協会（剣道部・弓道部・バドミントン部・卓球部）

体協以外（ソフトバレー愛好会・源流スポーツ大学・バスケットボールサークル）
 ジュニア（ジュニア卓球クラブ・少年剣道部・少年弓道部・ジュニアフットサルクラブ）
 雨天時のみ（学童野球・少年野球）
 冬期間のみ（体協野球部・体協ソフトボール部・体協ソフトテニス部・学童野球・少年
 野球）

○学校開放施設

木祖小学校体育館・校庭
 利用団体（学童野球・軽スポーツ同好会・すくすく倶楽部・バスケットボール教室
 ・陸上教室）
 木祖中学校体育館・校庭
 利用団体（ジュニアフットサルクラブ・体協バドミントン部・ソフトバレー愛好会）

(4) スポーツ大会・教室等

スポーツ教室については、小中学生対象の教室を中心に開催した。また、健康づくりの一環として、一般村民向けへ健康づくりや身体づくりの教室を開催した。
 体育の日を中心に村民体育祭を開催した。

○村民体育祭

開催種目
 教委主催 各区対抗綱引き大会・ウォークラリー大会・フットサル大会・ソフトバレー大会
 各部主催 野球大会・少年剣道大会・ソフトテニス大会・射撃大会・弓道大会
 バドミントン大会・ゲートボール大会・ゴルフ大会
 卓球大会・マレットゴルフ大会・ソフトバレー大会(共催)フットサル大会(共催)

○その他の大会・教室は別途一覧参照

5. 文化財保護事業関係

(1) 文化財保護審議会

審議会の開催（5回）、天降社オオモミジ施肥作業、文化財パトロールなどを行った。
 パトロールの際、担当委員より田上観音堂「シダレザクラ」について衰退が見られるとの報告があり、平成24年9月6日 樹木医の診断を受けた。
 南側ケヤキの巨木群による日照不足、周囲の灯篭や石碑、ブロック積みなど根の成育を妨げる要素が多く、根の成長を阻害しているとの診断結果であった。今後の樹勢回復への対処として、次年度以降3年ごとに4月上旬頃を目途に桜の木周辺7ヶ所に穴を掘り施肥を行う方針とする。

(2) 研修会への参加

日 時	内 容	開催場所
5月29日	木曽郡文化財保護連絡協議会研修総会	南木曾町
11月15日	長野県文化財保護研修会	塩尻市

(H24文化財)

(3) 木祖村郷土館

本年度の有料入場者数は285名で、入場料は62,700円となった。

一般 (300円)	団体 (200円)	小中学生 (100円)	合計
141人	60人	84人	285人
42,300円	12,000円	8,400円	62,700円

(H24郷土館)

6. 主要建設工事等

平成24年度 主要建設事業等

(単位：円)

項	目	事業名	業者名	事業費
教育総務費	教員住宅管理費	教員住宅（桜木町2号）既築防蟻施工	ナルコ薬品 株式会社	213,150
小学校費	学校管理費	木祖小学校グラウンド照明配電盤取替工事	小林電気工事 小林 政則	351,750
中学校費	学校管理費	木祖中学校修繕工事	奥原建設（有）一級建築士事務所	619,500
		木祖中学校プール電源引込線工事	小林電気工事 小林 政則	860,790
社会教育費	社会教育総務費	平成24年度 若者ふれあい支援センター倉庫設置工事	藤原建築 藤原 房雄	892,500
	公民館費	わら原生活改善センター白蟻防除処理	ナルコ薬品 株式会社	231,000
		菅北部集会所トイレ改修	奥原建設工業株式会社	257,000
		平成24年度 15区公会所屋根・外壁塗装工事	笹川左官 笹川 万喜男	2,310,000
		宝泉開拓団記念碑移転工事	木曾土建工業株式会社	846,300
		平成24年度 菅公民館改修工事 施工監理業務委託	奥原建設（有）一級建築士事務所	766,500
平成24年度 菅公民館改修工事	木曾土建工業株式会社	29,494,500		
保健体育費	保健体育総務費	木祖村社会体育館可動式バスケットゴール修繕	メディアック株式会社	241,500
		小木曾ゲートボール場休憩施設等修繕工事	森木建築 森木 弘人	493,500
		平成24年度 木祖村弓道場屋根塗装改修工事	秋山看板塗装店 秋山 登志男	1,606,500
	学校給食費	ガス回転釜（2台）	信越厨房 株式会社	909,300

7. 教育委員会関係委員名簿

教育委員

委員長	唐澤 達夫
職務代理	青木 瑞穂
委員	永島 芳晃
	湯川 龍磨

文化財保護審議会委員

会長	柳川 浩司
副会長	松原 秀幸
委員	伊藤 徳治
	大蔵 茂
	奥原 修
	北川 聡
	久保島 賢一
	澤頭 修自
	湯川 喜義

社会教育委員・公民館運営審議会委員

代表	原 悦子
代理	青木 恭一
委員	辺見 元孝
	松原 基代
	奥原 修
	奥原 まさ子

学校評議員

	永島 充貴	連合自治会長
	牛丸 俊隆	民生児童委員協議会長
	奥原 修	学識経験者
	松原 基代	元PTA会長
	秋山 淳一	保護者代表

公民館

本館	公民館長	柳川 浩司
藪原分館	分館長（副公民館長）	内山 文彦
	副分館長	深澤 衿子
	分館主事	村井 千秋
小木曾分館	分館長（副公民館長）	青木 功
	分館主事	永瀬 健弘
菅分館	分館長（副公民館長）	奥原 利明
	分館主事	木山澤 福夫
藁原分館	分館長	青木 広成
	分館主事	青木 昭好
吉田分館	分館長	手塚 和喜
	分館主事	松原 秀幸

スポーツ推進委員

	西田 秀明
	辺見 元孝
	上野 あやみ
	寺平 單
	神出 達喜

8. 公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧

平成24年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座開催台帳

社会教育編

1

講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数	内容	参加費	会場	備考
家庭教育学級	家庭	7月25日	渋谷 純子	とちのみ保育園保護者	56	子どもとの接し方		とちのみ保育園	講義 保育園共催
		9月3日		とちのみ保育園保護者	27	コミュニケーション		とちのみ保育園	講義 保育園共催
ミニ講座	家庭	5月16日	上村 けい子	保育園入園前の子どもと保護者	8	ブランター作り		子育て支援センター みやのもり	支援センター 共催
		6月25日	島口 今日子	保育園入園前の子どもと保護者	10	ドライフラワー		子育て支援センター みやのもり	支援センター 共催
		1月21日	森下 静香	保育園入園前の子どもと保護者	29	ヘアークット		子育て支援センター みやのもり	支援センター 共催
		2月5日	般若 佳子	保育園入園前の子どもと保護者	18	音楽鑑賞		子育て支援センター みやのもり	支援センター 共催
大人の学級	一般	4月23日	青木 瑞穂	村内一般	65	開講式 ～歌って元気はつらつ～		村民センター	講義・実技
		5月18日	館長		56	ふるさと講座(1) ～風景から知る木祖村の歴史～		村民センター	講義
		6月11日	館長・主事		40	県内遠足 ～天竜舟下りと飯田水引き会館～	3,600円	飯田市	研修
		7月17日	辺見 元孝		27	生活体力測定 ～元気に暮らす体のチェック～		社会体育館	実技
		8月28日	館長		22	保育園交流 ～園児と一緒に民話の舞台を歩く～		萩原宿内	散策
		9月28日	館長・主事		32	中学生交流 ～中学校おおとり祭～		中学校	交流
		10月18日	館長		39	郡外遠足 ～野麦峠と女工哀史～		松本市奈川	研修
		11月18日	田上 武夫 藤原 金作		10	小学生交流 ～わら細工～		小学校	実技
		12月7日	棚秋 洋平		34	ふるさと講座(2) ～植物に学ぶ～		村民センター	講義
		3月4日	館長		37	閉講式 (歌謡曲観賞)		老人福祉センター	鑑賞
女性セミナー	女性	4月26日	ぼっぱや	村内在住女性	20	開講式・講演 「生活を楽しむ！人生を楽しむ！！」		保健センター	講義
		5月29日	キャラバン コーヒー		17	コーヒー入門 「至福のひとつ時をご家庭で」		村民センター	講義・実習
		7月24日	館長・主事		15	心と体をほぐすリラックス体操		村民センター	実技
		8月23日	館長		11	星空の神秘 「夏の星座とお話を楽しむ」		村民センター 味噌川ダム	講義・鑑賞
		9月24日	館長		12	本との出会い 「源流図書館に行こう」		源流図書館	鑑賞
		10月14日	田上 望		16	物づくり体験 「お花炭アートを楽しむ」		炭焼き小屋	実技
		11月17日	館長・主事		10	村内研修 「小木曾歴史散歩とイタリア料理」	2,000円	パーゼ周辺	研修
		1月7日	-		15	芸術鑑賞 「ウィーン ヨハンシュトラウス管弦楽団」		木曾文化公園	鑑賞
陶芸教室	趣味	5月～9月	高木 勇	村内一般	19	世界に一つだけの作品を作ろう	3,000円	小学校図工室	実技
木祖村の宝講座	教養	5月17日	館長	村内一般	46	木祖村の伝説と民話		境峠	研修
		10月8日	館長		41	木祖村の伝説と民話		菅古道	研修
コンピュータ教室	教養	11月	木曾ITSC	村内一般	4	インターネットの楽しみ方	3,000円	小学校パソコン室	実習
小学校 放課後クラブ	遊び	1月～2月	館長・主事	小学生	41	スポーツを通しての仲間づくり		小学校	学習
放課後 パソコンクラブ	教養	10月～2月	木曾ITSC	小学5・6年生 希望者	8	基礎知識・ホームページ作成等		小学校パソコン室	実習
魚釣り・魚つかみ	自然	8月14日	木曾川漁協 木祖支部	小学生	中止	小中学生魚釣り教室		村内	体験 青少協共催
ブックスタート	家庭	10ヶ月検診時		乳児検診受診 親子	20	ブックスタートバック等の配布		保健センター	住民福祉課 共催
地域図書館講座		8月25日	ほがらか 絵本畑	村内一般	20	読み聞かせ		小学校	
		9月22日	横山 征雄	村内一般	10	切り絵体験①		小学校	
		10月10日	横山 征雄	村内一般	10	切り絵体験②		小学校	

平成24年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座等開催台帳

社会体育編

2

講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数等	内 容	参加費	会 場	備 考
すくすく倶楽部	体育他	4月～翌年3月	辺見 元孝他	小学生	86名(登録数)	学校体育の延長としての運動教室及び体験事業等	500円	小学校体育館他	別紙参照。
すくすくSCHOOL	体育	8月29日	辺見 元孝	中学生	18人	郡陸へ向けた走りの基礎を中心に開催(体育の授業で実施)		中学校体育館	中学1年生対象に実施
シェイプアップ学科	健康	5月～7月で10回	辺見 元孝	村民一般	14人	効率の良い運動で脂肪の燃焼を目指す	1,500円	社会体育館	源流スポーツ大学2012
体力アップ学科	健康	9月～11月で10回	辺見 元孝	村民一般	10人	個人の能力に応じた運動により体力増進		社会体育館	源流スポーツ大学2012
水中運動学科	健康	6月～8月で6回	花村 雪江	村民一般	7人	水中での運動とアクアビクス		木曾町福島プール	源流スポーツ大学2012
エアロビ教室	健康	5月～9月で10回	平井 峰子	村民一般	2人	エアロビクス		小学校体育館	源流スポーツ大学2012
ヨガ学科	健康	5月～9月で10回	武井 有佳子	村民一般	27人	ストレッチヨガ		社会体育館	源流スポーツ大学2012
社会体育館開放	健康	12～3月で41日		村民一般	延117人	冬季ウォーキング用に社会体育館開放		社会体育館	源流スポーツ大学2012
源流トラッククラブ	体育	通年		小学校4年生～6年生	21人	陸上大会および体力アップ等をめざした練習		小学校校庭 小学校体育館	
ソフトボール教室	体育	6月～10月	松原基代	小学校4年生～6年生	7人	投げ方など基本的な動きを指導		小学校校庭	最終日には交流試合実施
第10回ソフトバレーリーグ戦(第1節)	体育	5月～8月		村民一般	21チーム	2ブロックに分け開催	1チーム 500円	社会体育館	
第10回ソフトバレーリーグ戦(第2節)	体育	9月～10月		村民一般	21チーム	2ブロックに分け開催		社会体育館	
第10回ソフトバレーリーグ戦(第3節)	体育	11月～12月		村民一般	21チーム	2ブロックに分け開催		社会体育館	
村民体育祭ソフトバレー大会	体育	10月 6日		村民一般	8チーム	総当り戦 35人		社会体育館	
村民体育祭各区対抗綱引き大会	体育	10月 8日		村民一般	一般5チーム Jr3チーム	一般、ジュニアとも総当たり戦		社会体育館	7区3連覇
村民体育祭ウォークラリー大会	体育他	10月 8日		村民一般	41人	すくすく倶楽部共催でウォークラリー大会を開催		菅地区	NPO法人水の始発駅協力
村民体育祭フットサル大会	体育	10月 7日		村民一般	5チーム	総当り戦 40人		社会体育館	
第54回木曾川源流村内一周駅伝大会	体育	11月 3日		村民一般	一部28チーム 二部 5チーム	村内一周をつなぐ、伝統の駅伝大会		村内一円	小木曾南5連覇!

平成24年度 すくすく倶楽部
すく～る・スキー

No	開催日	タイトル	場 所	内 容	参加児童	jrリーグ	保護者他
1	5月19日(土)	すく～る(全学年)①	小学校体育館	学校体育授業の補助として開催	35	3	
2	5月26日(土)	すく～る(全学年)②	小学校体育館	〃	29	1	
3	6月23日(土)	すく～る(全学年、半日)①	小学校体育館	〃	27		
4	6月30日(土)	すく～る(全学年、半日)②	小学校プール	〃	31	2	
5	7月14日(土)	すく～る(全学年、半日)③	低学年：小学校体育館 高学年：小学校プール	〃	24	1	
6	7月21日(土)	すく～る(全学年、半日)④	小学校体育館	〃	24	2	
7	8月11日(土)	すく～る(全学年、半日)⑤	小学校プール	〃	9	1	
8	8月18日(土)	すく～る(全学年、半日)⑥	小学校プール	〃	7		
9	9月1日(土)	すく～る(全学年、半日)⑦	小学校体育館	〃	19	1	
10	9月8日(土)	すく～る(全学年、半日)⑧	小学校体育館	〃	12	1	
11	10月13日(土)	すく～る(全学年、半日)⑨	小学校体育館	〃	14		
12	10月20日(土)	すく～る(全学年、半日)⑩	小学校体育館	〃	13	1	
13	11月17日(土)	すく～る(全学年、半日)	中 止				
14	11月24日(土)	すく～る(全学年、半日)⑪	小学校体育館	学校体育授業の補助として開催	18	3	
15	1月19日(土)	スキー・スノボ教室	やぶはら高原スキー場	レベル別に別れて、スキー教室を実施	27	1	
16	2月2日(土)				3		
17	2月16日(土)				11	1	1
18	2月23日(土)				10		

物づくり体験

1	6月2日(土)	サンドプラスト体験(午前低学年・午後高学年)	老人福祉センター	グラスにオリジナルの模様をつける	60	4	10
2	11月18日(日)	わら細工体験(3～6年生対象)	小学校体育館	正月に飾るしめ縄づくりを体験	5		2
3	11月25日(日)	クッキング①(1・3・5年生対象)	小学校調理室	家庭で出来る手軽な料理づくりに挑戦	14	1	6
4	12月1日(土)	クッキング②(2・4・6年生対象)	小学校調理室	家庭で出来る手軽な料理づくりに挑戦	19		6
5	12月15日(土)	お楽しみ会・ケーキづくり	村民センター	班ごとに分かれてケーキづくりを体験	56	3	
6	3月2日(土)	閉講式&マジックショー	村民センター	閉講式&マジックショー	36	3	15

野外活動・体験

1	4月28日(土)	開講式 レクリエーションゲーム	社会体育館	開講式後、レクリエーションを実施 (大人も参加し、交流を図った)	51	6	2
2	5月20日(日)	天体観測について学ぼう	中 止				
3	5月21日(月)	金環日食観測会	中 止				
4	5月27日(日)	ハイキング・ 木祖村の伝説めぐり	境峠	境峠・しらかば平別荘地付近を散策	36	3	7
5	7月29日(日)	カヌー体験①(PTA共催)	奥木曾湖	奥木曾湖でカヌー体験、水遊び	29	3	15
6	8月1日~2日	キャンプ(高学年対象)	こだまの森	高学年対象にキャンプを実施	21	4	
7	8月5日(日)	川遊び(PTA共催)	木曾川(小学校付近)	ゴムチューブに乗って川遊び実施 じゃがバター試食	21	4	6
8	8月25日(土)	カヌー体験②(PTA共催)	奥木曾湖	奥木曾湖でカヌー体験、水遊び	21		10
9	10月8日(月)	ウォークラリー大会	菅地区	菅地区をクイズを解きながら散策	26	1	14
10	1月12日(土)	正月の遊び教室	役場大会議室・駐車場	正月の伝統行事、凧揚げや昔遊びを体験	15		16
合計31回開催(3回中止)					723	50	110

平成 25 年 11 月 8 日

木祖村教育委員会 様

木祖村教育委員会評価委員

奥原 修

柳川 悦子

木祖村教育委員会平成 24 年度事業の外部知見による評価について(回答)

平成 25 年 10 月 15 日付で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり評価し提出します。

平成24年度木祖村教育委員会事務事業を評価し、以下のように意見を付す。

1. 教育委員会

教育委員会会議は、平成24年度においては10回開催されている。

小中学校長を交えての会議も2回実施されているほか、平成24年度からの新たな取り組みとして小学校、中学校への授業参観日に合わせた学校訪問を実施するなど、学校側との情報交換に努めていることについては評価をする。

委員会の会議の内容は、教育委員会事務局及び学校関係の予算内容や事業に関する確認や村長部局との調整などのほか、平成24年度においては木祖村史跡鳥居峠の文化財としての今後のあり方に教育委員会としての方針を策定するなどの取り組みも行われている。一方で、児童・生徒の就学に関することや教員人事、また、村長から委員会へ意見を求められる村の奨学資金の貸付、教育ローンへの利子補給制度等の対象者の審査など、きわめて個人的な部分に触れることがあり、会議を公開するとされている委員会も非公開とせざるを得ない部分があるのはやむを得ないと思われる。

委員が、入学式、卒業式はもちろん、おおとり祭や運動会、音楽会などの行事にも積極的に出席し、また、平成24年度からは、保護者の事業参観日に合わせた学校訪問により、児童・生徒の学校や児童・生徒の様子 of 把握に努めていることについても評価をする。

そのほか、研修会にも積極的に参加して自己研鑽や他市町村教育委員会委員との情報交換、また、小中学校、保育園と連携して行われている就学支援体制への委員の参加による子どもたちの現況の把握や第4次基本構想における後期

基本計画策定委員への参加なども行われている。

点検・評価書にある教育委員会関係の予算や条例改正について教育委員会で審議、決定をし、村長部局に要望することが適当であるかについて検討を進めていく必要がある。

今後とも、積極的に村長や学校長と懇談するなど意思疎通を図りながら、円滑な教育行政の推進に取り組んでいただきたい。

2. 学校教育

小中学校の総合的な学習については、村民の参画や、社会教育を活用して取り組んでいる。子どもたちが、他の地区の人や、年齢・世代の離れた人たちと関わりを持つことにより、視野や生活感が広がっているものとする。近年、少子化や核家族化が進む中で、地域での子どもの活動や、世代間の交流が困難になってきており、生活の中で、地域の歴史やつながりを知る機会が少なくなっている。子どもたちが、郷土について学び、ふるさとを認識することへの取り組みにおいて、学校の持つ役割が、ますます重要となってくると考える。特に、お六櫛や、藪原祭りなど伝統工芸・文化の保存と継承については、子どもの頃から親しんでいくことが必要である。小中学校ともに学習指導要領の改定により授業時間の確保が困難な状況になってきているなかで工夫をしながら地域との関わりを大切にしていることについては評価する。授業時数の調整は大変であると思うが、可能な限り取り組みを継続されたい。

学習指導要領にある「生きる力」を身につけるためには、今後も学校だけでなく、家庭や地域など社会全体で取り組みを続けていく必要があると考える。

また小学校における「家庭学習の手引き」の作成がされ、保護者に示されている。児童の学年ごとに身につける学習目標の指針と家庭での学習のあり方がわかりやすくまとめられて、保護者に示されており、よくできた資料である。指針等について毎年度見直しを行いながら、有効な活用につなげていただくよう望むものである。

英語、数学専任の村費嘱託教員（中学校）、特別支援教育支援員（小中学校）、心の相談員（小中学校）、図書司書、またALT外国語指導助手（小中学校）、については、村費で配置を行なっている。これにより、学校教育の充実が図られるとともに、細やかな学習指導、生徒指導などがなされていることについては評価をする。少子化が進む中ではあるが、基礎・基本の徹底を図るため、学習の課程で個人差が生じやすい教科において、子どもたちに細やかな指導を行なうためには、今後も村費専任嘱託教員を配置していくことが望ましいと考える。

現在の社会経済情勢などから就学が困難な家庭が増えている。要保護・準要保護世帯への扶助制度は今後も継続していく必要があるが、対象世帯の的確な把握に努めることの重要性を再認識されるよう望みものである。

3. 社会教育・公民館

公民館の本館事業としての女性セミナー、大人の学級、また各分館で開催する、ふるさと講座、また各地区の運動会など、多様な学習機会などが提供されており、参加者の人数も増加をしていると聞く。教育委員会事務局職員や公民館役員・委員の努力については評価をする。人、地域のつながりなど、事業としての側面以上のものがあり、限られた予算の中にあって、今後も多くの参加者を募り、生涯学習やコミュニティの場が得られるよう努力されたい。

開館4年目を迎えた源流図書館は、利用者の人数の増加が伸び悩んでいるとされているが、人口が減少し、少子高齢化が進む中であって、読書世代も減少していることも要因と思われる。読み聞かせイベントの開催や、地域図書館だよりを月2回発行するなど住民への周知活動への取り組みについては一定の評価をする。

子どもの健全育成の場として、教育委員会が中心に行なっている放課後や土曜日の各事業は、学校教育とは違った交流・体験の場として効果が上がってき

ている。参加登録者の人数も増えており、少ない職員での対応が厳しくなっている点は否めないが、各種団体やNPOの活用など実施方法の見直しなどともあわせ、少子化の中で地域で遊ぶ仲間が減ってきている現状を踏まえ、今後とも継続をされたい。

4. 社会体育

ソフトバレー、マレットゴルフなど、種目が多様化する中、要望される施設や機材なども増えてくることとあわせ、健康志向が高まる中、村民の健康維持や体力づくりなどの各種事業はこれからも益々需要が高まってくることが予想される。現在も講座を増やす中で選択肢を広げたり、冬季ウォーキングに体育館を開放、スポーツ団体へ小中学校体育館の開放や器具購入への補助金交付などを行なっているが、今後も村民のニーズに応えるため、安心して利用できるようにスポーツ施設の維持管理と器具の充実に努める必要がある。

また、青少年の健全育成の観点からも重要な役割を担っていることから、活動の場の確保・整備はもちろん、青少年スポーツ指導者の育成が必要である。

村内一周駅伝大会は、参加人数やチーム数など増加しており、盛大に開催されている。一方でチーム編成が困難とする行政区もあり、統合チームの編成も検討したいとするとの声も聞く。これからも伝統ある行事の一つとして、更に盛り上がっていくことを期待する。

5. 文化財の保護

村内には貴重な歴史や文化財、伝統技術がある。それらを後世に伝えていくことも教育委員会の重要な役割である。専門的な知識と時間が必要となるが、将来には専門職の配置などを考えながら、文化財保護審議会と連携し、失われつつある歴史的、文化的遺物を研究調査し、その保護保存に向けての事業展開を期待するものである。

前述したように、平成23年度において、鳥居峠の今後のあり方について、

教育委員会から、文化財保護審議会へ諮問をし、平成24年度に答申を受け、教育委員会としての方針を示した。鳥居峠については、森林保全、観光資源と一体となったあり方の検討が必要と考える。

文化財保護審議会委員の活動として、村内文化財等のパトロールや鳥居峠の環境整備、天降社のオオモミジの施肥作業のほか、パトロールの結果を受け、田上観音のシダレザクラについて樹木医による診断が行われている。委員が率先して環境整備や文化財の保護活動を行なうことには重要な意義がある。

6. まとめ

教育委員会が、その活動について点検・評価を実施することにより、効果的な教育行政の推進を図るとともに、村民への説明責任を果たし、村民から信頼される教育行政を推進することへの一層の取り組みを行うことを希望して意見とする。

平成25年11月8日

木祖村教育委員会評価委員